

㈱絹川商事 環境行動計画

取組方針

(株) 絹川商事は、経営理念のもと、不動産と建設を通して顧客ニーズにあった事業活動を行っています。

当社の中期ビジョン「絹川商事ビジョン 2020」では、重点戦略の一つに「HAPPY SMILE 地域への貢献活動促進」を掲げています。

地域において事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。

このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動に伴う省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 事業活動に伴う廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ③ 3S（整理・整頓・清掃）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 27 年 10 月 26 日

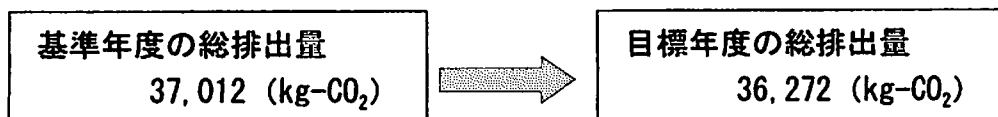
株式会社 絹川商事

代表取締役社長 絹川 善隆

3. 環境負荷の低減目標

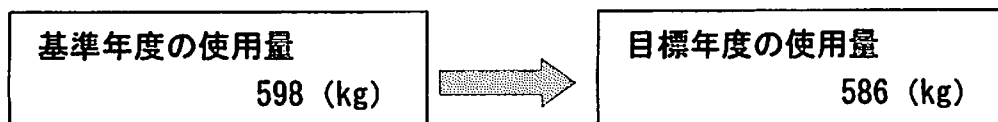
28年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも26年度です。)

【目標1】二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】廃棄物の適正な管理を行い、排出削減及びリサイクルに努める。

【目標3】コピー用紙の使用量を2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素排出量の削減

(事務部門での取組)

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 温度計を設定し、空調機の設定温度を管理する。
- ③ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ④ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

(営業部門での取組)

- ① アイドリングストップを徹底する。
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ エコドライブに取り組む。(ふんわりアクセル等)
- ④ エコカー(低燃費・低公害車)の購入を推進する。
- ⑤ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑥ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。

【取組2】廃棄物の削減、リサイクルの推進

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ③ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ④ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ⑤ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境活動責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。